

2023年度 学校自己評価集計表

実施期間：2024年6月6日～6月21日

評価基準： 4 適切 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 不適切

評価項目		評価 (4~1)			
1. 教育理念・目標		評価 (4~1)			
・理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	3	2	1	
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか	4	3	2	1	
・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	3	2	1	
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1	
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本YMCAの使命に基づく教育理念や目的、人材育成像は、各学科において明確になっているが、浸透していない部分もある。 入学式や卒業式、保護者会等の機会において、専門学校での教育理念、目的、育成人材像は伝えているが、もっと周知が必要である。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本YMCAの使命に基づく教育理念や目的、人材育成像をより広く知らしめるべく、日々の教育活動における取り組みの内容をHPやブログ、SNSといった媒体を通して、情報発信を積極的に行う。 学院全体として、各々が人材輩出を目指す現場で実際に起きている変化やニーズを集約し、各科において新しくチャレンジすべき専門教育や、全学科において共通するキャリア教育、人間教育に関わる事項を整理し、学生、保護者への案内やホームページ、広報素材に反映する。 より国際的な取り組みを強化し、留学生を受け入れるための人的体制を強化する。 入学前のオープンキャンパス等にて、教育方針やディベロパポリシーの理解を図る。 <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし 					
2. 学校運営		評価 (4~1)			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1	
・事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1	
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1	
・人事、給与に関する制度は整備されているか	4	3	2	1	
・教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4	3	2	1	
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1	
・教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1	
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1	
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本YMCAの全体方針に沿って、学校運営方針を定め、年度初めの講師会にて共有しているが十分伝わっていないように感じる。 各学科の入学人数にばらつきがあるものの、人的体制の偏りがみられる。またコミュニケーション不足の課題がある。 これまでの取り組みを振り返り、今現在の時流に適正であるか検討する必要性を感じる。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 会議での共有と同時に定期的に確認と評価を行い、効率的な取り組みを行う。 業務内容を見直し、業務の効率化につなげる更なる業務改善、見える化を進める。 定期的な研修、新人スタッフへの研修の充実とコミュニケーションの機会を増やす。 <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> なし 					
3. 教育活動		評価 (4~1)			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1	
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1	
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1	
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1	
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1	
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1	
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1	
・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	3	2	1	
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1	
・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1	
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1	
・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4	3	2	1	
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1	

<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムにおいては、教育課程編成委員会での助言を活かしながら実践しているが、もっと専門的な職員のスキルアップや研修の機会を設ける必要がある。 ・授業評価についてはすべて実施し評価フィードバックしていく体制づくりが必要。 ・研修・自己研鑽のための人的体制の確保。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成委員会や全国YMCAの専門学校との連携を進めていき、ニーズに合った授業内容の研究と研修の機会を進めていく。 ・実習における業界、企業、施設との関わりだけでなく、業界や地域社会に積極的に出向き、専門各領域の研修の充実を図り、教育課程に活かす。 ・教職員による各専門領域の研修の充実を図る。 <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 				
4. 学修成果		評価（4～1）		
就職率の向上が図られているか	4	③	2	1
資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか	4	③	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職希望者の就職率は、全学科100%であったが、就職に対しての意識の違いが大きい。 ・同窓会組織がシステム化されておらず、卒業後の追跡調査や動向把握が不十分である。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア形成システムの導入を検討し、卒業後の追跡を行っていく。 ・学科によって実施している卒業後研修（リカレント教育）の充実を図り、卒業後の動向把握や卒業生とのつながりを継続していく。 ・各専門分野におけるセミナー実施の検討を行う。 <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 				
5. 学生支援		評価（4～1）		
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	②	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生への生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4	③	2	1
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な学生に対応すべく、校内支援委員会、就職課のキャリアサポート、学科担当者の学生支援を進めているが、体制的に学生との時間の確保が十分とは言えず、各学科によって運用に差が生じている。 ・卒業後のサポート体制は、各学科担当者、就職課、事務局にて対応しているが、外部への周知が少ない。 ・社会人の学び直しの機会が不足している。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員で学生の状況を把握するためのシステムづくりや情報共有を進める。 ・学科担当者以外の職員も一人ひとりの学生の様子を知り、見守り働きかけを継続して取り組んでいく。 ・リスクリングの方の受入れ増加、体制整備。 ・YMCA独自の経済的支援制度の認知を広め、活用していく。 <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 				
6. 教育環境		評価（4～1）		
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の調整などに苦慮することがある。 ・それぞれの学科の目的に応じた学習環境の更なる充実が必要。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習棟、外部施設などを活用した実践の場をより活用する。 ・効率的な施設・設備の活用を図り、学習環境を整える。 ・海外経験を積める活動をより充実させる。 <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 				

7. 学生の受け入れ募集	評価 (4~1)			
学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスなど学生の申し込み時の手間など改善が必要と感じる。 ・オープンキャンパス参加者への業界や学びのイメージが提供しづらい環境。 ・もっと広報について効率的、戦略的に募集活動するべきと感じる。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学ガイダンスやオープンキャンパスの機会を増やし、入学対象者への直接アピールする。 ・各学科での学び、業界での働きをイメージしやすくするための環境の充実を進める。 ・各業界が求められる資質について、オープンキャンパスにて理解を促す。 <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 				
8. 財務	評価 (4~1)			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学科において、入学者数の偏りが見られる。 ・学生数の減少に伴う減収。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学科毎の収支管理や予算組みをより明確にする。 ・社会人や留学生が入学し、学ぶことのできる新規学科や講座の研究を継続して進める。 ・多くの方に入学いただけるよう、募集の強化を行う。 <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 				
9. 法令等の遵守	評価 (4~1)			
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営が行われているか	4	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業実践専門課程認定を受け、企業や地域、卒業生等の学校関係者評価委員会を導入し、学校評価を行っているが、定期的なフィードバックが必要。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係法令の遵守、個人情報保護の徹底、ソーシャルメディアガイドラインの周知徹底を今後も進めていく。 ・PDCAサイクルの活用と定期的なフィードバックを行う。 <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 				
10. 社会貢献・地域貢献	評価 (4~1)			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に行っているか	4	3	2	1
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々を対象とした公開講座の開講ができなかった。 ・移転後でもあり地域との関係づくりが不十分である。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人の学び直しの機会としてのプログラム開発を行っていく。 ・地域や近隣の団体との関係性を構築するための交流の機会を設け、働きかけていく。 ・各学科の専門性を活かしたプログラムの開発を研究していく。 <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 				
11. 国際交流	評価 (4~1)			
留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	3	2	1
受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等が取られているか	4	3	2	1
学習成果が国内外で評価される取り組みを行っているか	4	3	2	1
学内で適切な体制が整備されているか	4	3	2	1
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生受け入れのための制度や手続き等、職員の理解、人的体制は、未だ十分とは言えない。 <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポート体制の充実を図り、職員の理解を深めるための研修を行う。 ・留学生の学習サポートや生活支援の体制づくりを継続して進めていく。 ・学生間において留学生との交流の機会を増やす。 <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 				